(Q&A)

Q1 人間ドックの助成費用および検査項目について（令和6年度からの変更点）

⇨ 助成費用

令和６年度から、組合からの助成費用は**３万円**までとなります。

健診料金から、3万円を差し引いた額をご自身で健診機関へお支払いください。

（実際にかかった費用が3万円未満の場合はその費用まで組合が負担しますので、健診機関へのお支払いはありません。）

なお、助成を受けるには「受診券」と「被保険者証等」が必要となりますので必ずご持参ください。

⇨ 検査項目

特定健診項目は必須（Q3参照）となりますが、その他の項目について組合からの指定はありません。

Q2 診療を休んで人間ドックを受けに行くのは難しい

⇨ 富山市医師会健康管理センターでは、**日曜医師ドック**や診療前に受けられる**早朝医師ドック**を実施しています。富山市医師会会員以外の方も利用されています。

Q3 人間ドックを受けないで、特定健診だけで済ませたい

⇨ 可能です。集合契約に参加している機関で受診してください。また、自院が集合契約参加機関である場合は、**ご家族が**自院で特定健診を受けられても構いません。→Q4参照

なお、後期高齢者広域連合の被保険者証をお持ちの方で、特定健診のみを希望される場合は当組合ではなく、後期高齢者広域連合が実施する特定健診の対象となります。

Q4 自家健診の内容や方法について知りたい

⇨ **自家健診は認められておりますが、自己健診（医師が自分自身の健診を行う）は認められていません。**

⇨ 請求方法

富山県医師会の集合契約に参加している自院で、ご家族が特定健診を実施された場合、補助の対象となります。

費用は国保連合会へ請求してください。（集合契約単価　9,000円が支払われます）

なお、「詳細な健診」〈※〉や人間ドックとしてのクレアチン検査は実施しますが、**市町村国保で実施している「追加健診」としてのクレアチン検査は実施していません。**

（※）血圧が「収縮期130mmHg以上又は拡張期85mmHg以上」
　　血糖が「空腹時血糖値が100mg/dl以上、HbA1c5.6%以上又は随時血糖値が100mg/dl以上」

Q5 自己管理しているので、腹囲や血圧は受けたくない

⇨ 特定健診項目は、組合への補助金に関わりますので必ず受けていただいています。

↳ 身長・体重・BMI・腹囲、血圧、中性脂肪、HDLコレステロール
　LDLコレステロール、AST、ALT、γ-GTP、空腹時血糖またはHbA1c

Q6 人間ドックを受けた後、集合契約機関で特定健診を単独で受けてもいいですか

⇨ **両方は、受けられません。**

人間ドックには、特定健診項目が含まれていますので、両方を受けた場合は国保連合会のデータチェックでエラー（重複エラー）となり返戻されます。

ご不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください

富山県医師国民健康保険組合
TEL　076(429)7337
FAX　076(429)9600
E-mail　info@toyama-ishikokuho.or.jp